

今ある人生はまさに「爪上の土」。だからこそ、人間的成長に全力を

浄土宗西迎院副住職／尼僧アイドル 光誉祐華（元愛\$菩薩）

中村 祐華氏

「優（やまと）は国のまほろば」。今回はいつもの東京ではなく、古代の英雄ヤマトタケルノミコトが「まほろば」（＝素晴らしい場所の意）と形容した大和国、現在の奈良県に足を運びました。訪ねたのは、同県吉野郡にある浄土宗の寺院・西迎院です。開基600年の歴史を有する同寺の副住職を務める中村祐華さんにお会いしました。

中村さんは日常的な僧侶としてのお勤めの傍ら、この7月9日まで「愛\$菩薩」、それ以降は「光誉祐華」の名で、尼僧アイドルとしての活動に取り組んでいます。女性僧侶のアイドル活動と聞いて眉をひそめる向きもあるかもしれませんが、中村さんは若者が集まるライブハウスなどで、音楽に載せてお経を称えたり、仏教の教えを歌詞に込めたオリジナル曲を歌ったりするなどし、若者と仏教の出会いのきっかけをつくらうとしています。

現代的な感性を備える僧侶の目に、モラルや道徳、そして仏法が失われつつある現代社会はどう映っているのか、さまざまなことをお聞きしました。読者の皆様がおなじみの足元を見つめ、考えるきっかけになれば幸いです。

念仏の捉え方に宗派の違い

山門前に、松尾芭蕉が述べたとされる俳諧の心得が貼り出しており、目に留まりました。「格に入りて格を出る。格に入らざれば邪格に入る。格に入りて格を出れば、自在なり。」



住職を務める父が書いたものです。

俳諧に限らず、何事にも通用する格言だと思います。本日はお忙しいところ、お時間を割いていただきありがとうございます。

こちらこそ、遠路お越しいただき、恐縮です。

早速ですが、いわゆる世界三大宗教に数えられるのは、キリスト教、イスラム教のほかには、どの宗教があったのかは、ユダヤ教、ヒンズー教、仏教などがあります。

信者の数で言えばヒンズー教です。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。



浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

父の姿に見た父の道の奥深さ

一方、浄土宗の念仏には、地獄・餓鬼・畜生道に落ちたままの人間が、阿彌陀仏に救われていくという考え方があり、報恩謝徳の意味合いがあります。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

浄土宗は平安末期の一一七五（承安五年）に、宗祖である法然上人が京都の東山吉水で念仏の教えを広め、始まりました。そのお弟子が親鸞聖人で、自身は独立して宗派を立てる意思はなかったと言われている。

アイドル+菩薩でインパクト重視

尼僧アイドルの活動はいつから始めたのですか。

二十五歳の時からです。大学を卒業してすぐに実家に戻り、父の手伝いを始めました。そこで驚いたのが、あまりにも若い人がお参りに来ないということでした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

お彼岸などの年中行事でも、若くて50代くらい。各家庭の法事を勤めて、お寺さんが都市部に就職し忙しなくて家に帰る時間が取れないとか、お孫さんがいても塾や習い事優先で法事に出ないという現状でした。

殺生への鈍感さに強い危惧

とりわけ「生き物を殺すな」は大事ですね。実は昨年の秋、近所の中学校から命についての講演をしてほしいと頼まれました。そこでこんな話をしました。

父方の祖父が亡くなりまして、祖父の容体がどんどん悪くなっていく中で迫ってきた別れの悲しみと自分が何もできない無力感が私を苦しめていた時に、父が「最期人を看取る時は臨終行儀に則って送るのが一番いいんや」と教えてくれました。

祖父が亡くなる前、そして息を引き取った後も、父は涙一つ見せず、祖父を仏壇に元へ送り出すことに徹底していました。私は悔みが深いほうでしたので、父のそんな姿を見て、家族との死別という一番辛いことを乗り越えさせてもらえぬ仏教を学びたい、大学在学中に僧侶になろうと、消去法でやむなく、寺はいずれ兄が継ぐことになってしまったので、私は必ずしもお坊さんにならなければならなかったわけではありませんが、私自身が仏教を多くの人に伝えたいからと、週一回の宗教の授業が大好きでした。そして、高三の時に

私はお寺で育ったものの、勉強や宗教については徹しく言われたことはなかった。けれど、就職からたった二つ、昔から言われていたことがあった。「無駄な殺生はしてはいけないよ」と。夏場になったら、田舎では蟻が家の中に行列をつくらうと、お寺の僧侶が掃除機で吸ったり、殺虫剤を振りまいたりした。絶対あかん人間から作り出せる命は何一つないし、蟻が家の中に入ってきておるなら、屏の外に船玉を一個でも置いておけば、そちらに自然と寄っていく。それが大事なんやと、父から教わったという内容です。

「知らない」というところに問題が潜んでいる。そうなんです。悪いと知ってやっつけよう、悪いと知らずにやり続けるのでは、罪の重さが違うとお釈迦様もおっしゃって、悪いと知ればこそ、自罰する気持ちが生まれて来ると思います。

「こめんね」と思うか、「当たり前や」と思うかは、天と地ほどの差があると私も思います。

「知らぬが祟り」というところに問題が潜んでいる。そうなんです。悪いと知ってやっつけよう、悪いと知らずにやり続けるのでは、罪の重さが違うとお釈迦様もおっしゃって、悪いと知ればこそ、自罰する気持ちが生まれて来ると思います。